

リデュース・リユース・リサイクル促進事業について



1 概要

リデュース・リユース・リサイクルについて、さらなる推進を図るために、各方法に応じた、取り組みを民間事業者等と協力しながら、実施を行う。

(1) リデュースに関する取組

● フードドライブの通年実施について

食品ロスも大量に排出されるごみの一部となっており、2017 年には事業系食品ロスで 328 万トン、家庭系食品ロスで 284 万トンものごみがでている。また、市においても家庭ごみの中に年 2,300 トンの手付かず食品が捨てられている現状を踏まえ、民間事業者と協定を締結し、フードドライブの回収拠点を市内公共施設において常設し、通年の実施を行うことで、さらなる食品ロスの削減を推進する。

(2) リユースに関する取組

● フリーマーケットアプリの活用について

臨時ごみとして排出されたものの内、まだ使用できる（もしくは簡易な修理で）家具や自転車等を民間事業者が運営しているフリーマーケットアプリ等を活用し、リユースの促進を図る。

(3) リサイクルに関する取組

● 宅配便を活用したパソコンの処分方法について

使用済みのパソコンは、資源有効利用促進法により、メーカーによる回収とリサイクルが義務づけられているために、市の不燃ごみの日に排出することができなかったが、環境省から認定されている民間事業者と協力し、宅配便を活用したパソコンの処分方法について、市民に効果的に周知を行い、市民のごみ排出における利便性の向上を図るとともに、リサイクルの推進を図る。

● 市内公共施設におけるインクカートリッジの専用回収ボックスの設置について

国内で使用されているインクカートリッジは年間 1 億 1 千万個といわれ、そのうち回収して再利用されているのは半分以上の 5 千万個で、残りは可燃ごみとして処理されている。また、インクカートリッジは、焼却すると 1 個あたり、58g から 110g 程度の CO2 が排出されることから、回収してリサイクルすることにより、CO2 の排出することができることから、民間事業者と協力し、市内公共施設に回収ボックスを設置し、CO2 削減及びごみの減量化を図る。

2 令和4年度予算要求額 50,000 円 (①+②)

(1) 印刷製本費 35,000 円①

● 自治会回覧用チラシ

・ $3.1 \text{ 円} \times 10,000 \text{ 枚} \times 1.1 = 34,100 \text{ 円}$

リサイクル・リユース・リデュース促進事業を効果的に市民周知をおこなうため、全自治会にたいし回覧用チラシ（A4両面カラー）を配布する。

(2) 一般消耗品費 15,000 円②

● 啓発用のぼり

・ $1,370 \text{ 円} \times 10 \text{ 枚} \times 1.1 = 15,070 \text{ 円}$

フードドライブの拠点回収用ののぼりを作成

【設置予定場所】

コミュニティセンター、保健福祉センター、産業振興センター、本庁舎、クリーンセンター等